

相模原市（所在地：神奈川県相模原市）

事業名

インクルーシブ・プログラム開発事業

事業の趣旨・目的

- ・大学を活用した、障害の特性に配慮した若者世代の学びや交流、仲間づくりを促進するための開発と実践
- ・教育や福祉等の連携による、学びや交流のための推進体制の検討
- ・共生社会の実現に向け、障害や生涯学習への理解促進のための情報発信や啓発活動

事業実施体制・連携先

再委託先：相模女子大学

参加協力者代表（勤労青年・学生）、相模女子大学（副学長・理事）、市内支援学校、市内インクルーシブ教育実践推進校、相模原市社会福祉事業団、民間福祉事業所、相模原市教育委員会（支援教育課、生涯学習課）、相模原市（スポーツ推進課、高齢・障害者福祉課）、学識経験者（東京学芸大学、信州大学）

主な対象

知的障害/発達障害

活動分野

学習/普及啓発

事業の取組内容

相模原市は市民に向けた啓発活動や啓発講座の企画・実施を担い、相模女子大学に生涯学習及びエンパワメントのプログラム開発を再委託した。

○インクルーシブ生涯学習プログラム（相模女子大学）

若者なら誰でも参加できる「オープン・セミナー（大学で学ぶ楽しみ発見セミナー）」（全4回）と、就労している発達・知的障害者と相模女子大学学生の固定メンバーによるクローズドな「ゼミ活動」（全5回）を実施した。

○エンパワメント・プログラム（相模女子大学）

当事者が主体となり、セミナー運営、リサーチ活動、メディア活動の3本柱で構成。リサーチ活動（全12回）は「みんなが楽しめるセミナーとは」をテーマにセミナーの企画・運営を行い、メディア活動（全9回）はセミナーを取材し、動画を通してプログラムの魅力を社会に向け発信した。

○啓発講座（相模原市）

発達障害や知的障害のある若者にとって、就労に加えて、生涯学習や余暇の機会が重要であるという考えを広く伝えることを目的に、中高生以上の若者、保護者、教員等に向けた講座を開催した（全2回）。

○連携協議会（相模原市）

発達障害や知的障害の若者にとっての生涯学習の意義、本事業の運営等について、当事者（発達障害や知的障害のある若者と学生）・関係機関を交えて意見交換を行った（全3回）。

活動の様子

▼セミナー



▼リサーチ活動



▼啓発講座



その他

▼成果報告書



▼相模女子大学HP

ホームページのご案内

1. 活動紹介動画
 2. 成果報告書
 3. イベント情報
 4. 研究活動報告
- などを掲載しています。

QRコードからアクセスしてください



(SAGAmihara inclusive lifelong learning
Program & Package for young Adults : SAGAPPA)